

目 次

まえがき

凡 例

序 章 大学と学知から見る冷戦初期アメリカ———1

第1節 アメリカ史における大学と学知……………1

第2節 先行研究……………7

第1章 第二次世界大戦期の戦時機関におけるソ連研究の形成と変容—17

第1節 先行研究と問題の所在……………17

第2節 東欧研究部門と「中立的」・「客観的」研究……………18

第3節 ソ連研究部門の誕生……………23

第4節 ソ連研究の変容……………28

小 括 第二次大戦から冷戦へ……………32

第2章 冷戦初期の大学におけるソ連研究の「再編」———37

第1節 先行研究の検討と問題設定……………37

第2節 戦略情報局ソ連研究部門の終焉……………39

第3節 ソ連研究の「軟着陸」——コロンビア大学ロシア研究所……………42

第4節 「新たな」ソ連研究とその蹉跌
——ハーヴァード大学ロシア研究センター……………47

第5節 トロイ計画とハーヴァード大学ロシア研究センターの「再編」…51

小 括 「再編」の位相……………59

第3章 冷戦初期におけるソ連研究の「停滞」——65
——ハーヴァード大学難民聞き取り計画

第1節	先行研究の検討と問題設定	65
第2節	難民調査研究出現の文脈	69
第3節	ハーヴァード大学と空軍の関係構築	78
第4節	迷走する RIP	81
第5節	RIP の中止、「停滞」と人的ネットワーク	88
小括		96

第4章 冷戦の展開とソ連研究の途絶——103
——マサチューセッツ工科大学国際問題研究センター

第1節	先行研究の検討と問題設定	103
第2節	人文・社会科学部の設置構想	105
第3節	MIT におけるソ連研究の開始	113
第4節	近代化論の影とソ連研究の途絶	121
小括		129

終章 ソ連研究の「遺産」と1950年代後半以降のアメリカー137

第1節	ソ連研究の衰退と機関連環の限界	137
第2節	ソ連研究の凋落と再出発	145

あとがき

参考文献一覧

事項索引

人名索引